

奈良中学校だより



世界を  
小とせよ



熊谷市立奈良中学校第3号

TEL 048-521-2364

平成30年6月1日発行

学校教育目標

自ら考え  
他に貢献できる生徒の育成  
目指す生徒像

- ☆自ら学ぶ生徒
- ☆心を耕す生徒
- ☆体を鍛える生徒

奈良中のモットー

- 「時・場・礼」
- 「負けじ魂」
- 「意気高し」
- 「深き愛情」

奈良中の  
伝統です。

保護者の皆様へ（お礼）

4月の授業参観、PTA総会、部活動懇談会、そして5月の家庭訪問等、ご多用のところお時間をつくっていただきありがとうございます。今後も、できるだけ学校での様子をご覧いただける機会を設けていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。また、学校のホームページでも生徒の様子を紹介しています。こちらをご覧くださいと思います。

安全に自転車を利用しよう



奈良駐在所の今駐在官をお迎えし、自転車の安全な乗り方等について講話をいただきました。

自転車の利用者が加害者になる事故が多くなってきていること、保険加入の必要性などについてわかりやすく話していただきました。中学生は特に自転車に乗る機会が多くなります。被害者にも加害者にもならないよう、交通ルールを守って気をつけて自転車を利用しましょう。

学総市予選に向けて

21日から学校総合体育大会熊谷市予選会が始まります。3年生にとっては、最後の大会です。これまでの練習の成果を十分に発揮して欲しいと思います。各部の部長さんに意気込みを聞きました。

学総の目標は、個人での県大会出場です。そのために、目標をもって練習に励んでいます。（坂口部長）

卓球部の目標は、「打倒強豪、目指せ県大、いざ前進」です。練習を徹底し大会に臨みます。（小松部長）

一勝でも多く勝てるように、仲間と協力し最後まで声を出して頑張ります。（藤野部長）

私たち野球部は、初戦突破と勝ち進んで県大会を目指しています。最後まであきらめずに戦います。（小林部長）

最後の大会で、男女とも県大会出場を目指し、練習を頑張ります。（小笠原部長）

予選を勝ち抜き2日目に進出し、1つでも多く勝ち進み賞状を取ります。（西塚部長）

学総では、県大会ベスト4を目指しています。残りわずかな時間を大事に練習したいです。（仲田部長）

6月の主な行事予定

完全下校

1	金	衣替え	6:00
2	土	部活中止 くまなび(9:00~)	
3	日	アルミ缶回収	
4	月		4:20
5	火	全校朝会 補充教室	4:20
6	水	健全育成挨拶運動 補充教室	4:20
7	木	前期中間テスト(1~5テスト)	4:20
8	金	生徒総会	6:00
9	土	くまなび(14:00~)	
10	日		
11	月		6:00
12	火	学年朝会 眼科検診	6:00
13	水	大滝林間、神川体験説明会	6:00
14	木	専門委員会	☆
15	金	登校指導日	6:00
16	土	くまなび(14:00~)	
17	日		
18	月		6:00
19	火		6:00
20	水	安全点検	6:00
21	木	学総市予選中心日 給食なし	☆
22	金	学総市予選中心日 給食なし	☆
23	土	学総市予選(野球・ラグビー・卓球)	
24	日		
25	月		6:00
26	火	生徒朝会	6:00
27	水	学総市予選(陸上)	6:00
28	木	学総(陸上)予備日	☆
29	金		6:00
30	土	学総地区代表決定戦 くまなび(14:00~)	

「オープンマインド」の心で

前期人権旬間での校長講話から

人権とは人が生まれながらにもっている権利のことです。しかし、単なる権利ではありません。誰もが幸せに生きる権利です。では、どうしたら幸せになれるのでしょうか。そのキーワードは『オープンマインド』です。オープンマインドとは、「心をオープンにする、広い心になる」という意味です。「広い心で考える、偏見なく考える」ということです。偏見とは、中立ではなく、偏った見方、考え方をすることです。素直に、まっすぐ人と向き合うことなく、始めから、「あの人は〇〇だから・・・」と構えて向き合うことです。これが偏見です。また、先日読んだ小説では、こんな場面がありました。主人公の女性は、職場の女子から「男の人とは話ができるのに女子とはしない」と悪口を言われたりしていました。また、彼女がエレベーターに乗ったとき、重量オーバーのブザーが鳴ったのですが、降りようとしなかったことに、周囲の人たちは皆いらだて、彼女は性格が悪いと言いました。しかし、これは、その女性の性格のせいではなく、耳の障害のせいでした。彼女の障害は、男の人のような低音は何とか聞き取れるけれど、女性やブザーのような高い音は聞こえなかったのです。いじめや差別は、こうした偏見から生じます。

すべてが完璧な人はいません。人には多少なりとも欠点があります。その欠点をその人すべてが欠点のように考えたり、評価したりすることが人権を侵害していることとなります。

では、どうしたら偏見をなくし、誰もが幸せに生きる権利を守ることができるのでしょうか？2つお話しします。

まずは、相手に100点満点を求めないことです。私たちが生きていくとき、必ず他の人との関わりが生まれます。そのとき、「100点満点から減点していくのではなく、相手の良いところを見つけて、0点から加点していく」ことです。オープンマインドで相手の良いところを見つけて、よりよい人間関係が生まれます。誰でも、自分の良いところに気づいてもらえればうれしいものです。加点法の関わりで人権を大切にしましょう。

2つ目は、当たり前なのですが「自分がされて嫌なことは、人にしない」ということです。相手の痛みは自分の痛み、相手を思いやることができれば互いに気持ちよく関わることができます。自分がされて嫌なことを、うれしいと思う人は一人もいません。ですから、「自分がされて嫌なことは、人にしない」ということは、すべての人ができることです。

この2つのことを行うことで、みなさんすべてが楽しく、幸せな学校生活を送ることができます。皆さんの実践に期待してお話を終わります。

生徒の皆さんへ

約1週間後に前期中間テストがあります。これまでの学習がどのくらい定着したかを計るものです。準備をただでさえ成果も得られます。まずは、教科書、ノート、ワークなどを見直して自分の理解度を確認することが大切です。わからないことがあれば、補充教室や直接先生に聞くなどしてわかるようにしてからテストに臨んでください。最後まであきらめずにやろうとする気持ちが学力を向上させるためのステップとなります。まだ、時間はあります。計画を立て、できることから始めてみましょう。



生徒数  
男子 84名  
女子 72名  
計 156名  
(6月1日 現在)



写生会  
H30.5.2